

令和元年度（平成31年度）学内研究助成金 研究報告書

研究種目	<input type="checkbox"/> 奨励研究助成金	<input type="checkbox"/> 研究成果刊行助成金
	<input checked="" type="checkbox"/> 21世紀研究開発奨励金 (共同研究助成金)	<input type="checkbox"/> 21世紀教育開発奨励金 (教育推進研究助成金)
研究課題名	幸福度と大学教育のあり方に関する研究 ～パネルデータ構築と実験による新しい試み～	
研究者所属・氏名	研究代表者：経営学部 布施匡章 共同研究者：経営学部 藤本和則 経済学部 佐々木俊一郎 マルデワ・グシエゴシエ	

1. 研究目的・内容

パネルデータの構築を通じて、学生の幸福度と大学教育のあり方に関する関係について分析を行う。同一の対象を継続的に記録するパネルデータは、観察不可能な対象の違いを浮き彫りにでき、単一年度のアンケートとは得られる情報量に大きな差がある。学生の幸福度や成績と教育の質すなわちアクティブラーニング等の講義手法との関係を分析することで、大学の特色を活かしつつ、今後国内外で活躍する人材育成に貢献することが目的である。

2. 研究経過及び成果

本研究は平成30年4月から令和3年3月までの3カ年の研究計画で実施される。令和元年度は2年目に当たり、アンケート調査並びに経済実験を実施した。また、それらの準備並びに分析と事例研究のため5回の研究会を行った。研究会では各自研究発表を行い、共同研究の意識合わせと新商品・新サービスの創出方法について議論した。共同研究ワークショップでは、令和2年度に実施するアンケートと共同研究体制、今後の研究方針について議論した。

・研究会実施

2019年4月25日	研究発表：佐々木
2019年5月17日	研究発表：藤本
2019年7月5日	外部講師研究発表：高砂（大阪大学）
2019年9月13日	アンケート実施準備
2019年10月18日	研究発表：山根
2019年12月13日	研究発表：布施
2020年1月17日	研究発表：マルデワ
2020年2月19日	共同研究ワークショップ

・アンケート調査

2019年4月17日～28日、9月26日～10月6日 実施
対象：経営学部及び経済学部生
主な質問項目：幸福度、経済的満足度、健康満足度、個人属性等

3. 本研究と関連した今後の研究計画

令和2年度以降もアンケート調査は継続し、入学から卒業までを網羅したパネルデータ化を実施する。
研究コア「幸福度の研究」として、今後も継続して研究を行っていく。

4. 成果の発表等

発表機関名	種類(著書・雑誌・口頭)	発表年月日(予定を含む)
行動経済学会全国大会	口頭発表	2019年11月10日